

～安全と安心の実現～

2009年7月31日発行 7月号 No. 174

◇「突然の危機」

副本部長・総務委員長 松本 有司〔台東支部 金方堂運輸(株)〕

ある日突然、自社のドライバーが居なくなったらどうしますか？あなたは16万人の推定死亡者に入らない自信がありますか？新型インフルエンザのリスクは単に自社の経営責任に留まらず社会機能全体に直結する大きな問題であったと震撼した。7月7日に開催された女性部主催の講演には企業経営に於ける重要管理項目との認識から当ロジ研、青年部も急遽、協力開催の形式をとらせて頂いた。恐るべき事実を聞いて良かったと思う。無用な誤解を生じさせないため、講演にて岡田晴恵先生が指摘・忠告された実態を当紙面に表現することは慎むが、以下にWHOの論点の一部を列挙する。①現在、冬である南半球にて人から人へ感染する弱毒性変異体ウィルスが確認され、摂氏20度以下になる時期頃に日本に再上陸する。②ウィルスの媒体はブタ型も含めて水禽類(カモ、白鳥など)であり水際防衛は困難である。③蔓延を防止する為には家庭の主婦が正しい認識にたつて対処する必要がある。④我々業界は社会機能保持者として国内3,000万人分しかない強毒性ワクチンの増産を強く要求すべきである。⑤マスクの外側はウィルスが増殖しやすく必ず使い捨てにすること等々・・・各項目にて質問がある方は是非岡田氏の単行本※を購入頂きたい。

※「新型インフルエンザ完全
予防ハンドブック」

(岡田晴恵著)

○幻冬舎文庫 110ページ 400円

○出版社：幻冬舎(2009/5/22)

○目次：

第1章 知識編

第2章 対策編



◇千代田支部壮年部長

副本部長・広報副委員長 渋谷隆義(千代田支部 (株)ユニコム)

昨年、ロジ研千代田支部の総会で部長を引き受けてから早くも1年が過ぎました。ロジ研千代田支部の部員は、昨年本社移転のため1名が脱会しましたが、それでも現在の部員は26名と東ト協の中でも1番の部員数を誇っています。そして各々が優秀な人達ばかりで部長として大変心強く、安心して事業活動に専念しております。さて本年第1回目の研修交流活動として8月7日に「横浜開港博Y-150」の見学研修会を企画しました。外国の文化が真っ先に入った横浜を尋ね、明治維新の文明開化の息吹を部員と共に感じてこようと思っております。本年もロジ研千代田支部部員と共に活動に頑張っていく所存ですのでよろしくお願い致します。

また、本部副本部長として広報委員会副委員長として企画を担当することになりました。他支部役員の方々にも原稿を依頼すると思っておりますが、なにとぞご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

◇「物流ソリューション2009」シンポジウム：グリーン・エコプロジェクト



7月14日東京流通センターで開催された「物流ソリューション2009」(物流ニッポン新聞社主催)シンポジウム：グリーン・エコプロジェクトにロジ研副本部長・研修委員長の藤倉泰徳氏が初対として参加しました。写真は左から間地氏(アサ)、金城氏、藤倉氏、増田氏(関東運輸局交通環境部長)

◇本年度の温故創新で愛媛県の松山を訪ねる秋山兄弟とは

一般的には、司馬遼太郎の長編小説『坂の上の雲』に登場する秋山好古・真之兄弟として知られています。

兄の秋山好古(よしふる)は、安政6年生～昭和5年没。松山藩士(下級武士)の三男として愛媛・松山に出生。一時教職にあったが、明治

10年陸軍士官学校、明治16年陸軍大学を経て騎兵科を志す。その後松山藩主久松定昭の養子となり家督をつぎ、フランスの陸軍士官学校でまなぶ。日露戦争で騎兵第一大隊長、後に騎兵学校長となり明治陸軍の騎兵科を「戦略機動集団の騎兵」として強化発展させ、「騎兵の父」と仰がれた。

日露戦争では、騎兵第一旅団長として世界最強のコサック騎兵に育成早々の騎兵集団を駆使して渡り合い、遼陽、奉天会戦で大成功をもたらした。好古45歳のときであった。

この時代に好古は、自分の国家観と人生観を次のように述べている。「国家の衰退は常に上流階級の腐敗より起こらないものはない。一家一族は国家の夷利を挙げたならば、名利を放棄して、速やかに閑居する必要がある。これが私の多年の宿論だ。それゆえ、その素志を果たそうとしたことは一再にとどまらない。しかし、いまは事変のため、戦場に赴くことになるだろう」「勝ち戦に驕り功名を追えば、敗れる」(続く)

☆執行部より、本年度の温故創新は10月16日～17日に愛媛県松山市に「秋山兄弟を訪ねる」(案)で計画しています。是非ご予約ください。

◇お知らせ《行事予定》

○8/6(木)の午後5時から「明治記念館」で正副本部長会議

○同日午後6時から同所でロジ研納涼会を開催します。席に余裕がありますので、8月3日(月)まで申込み締め切りを延期いたします。ロジ研会員の皆様には是非ご参加ください。

日時 平成21年8月6日(木) 18:00～20:00

場所 明治記念館「芙蓉」(着席buffe方式)

東京都港区元赤坂2-2-23 TEL. 03-3746-7711(代)

会費 10,000円(当日会場で頂きます。)

お申込は、東ト協教育研修部 斎藤 康 TEL. 03-3359-4137へ

○東ト協ロジ研第1回オープンセミナーのご案内

平成21年度ロジ研第1回オープンセミナーを8月25日(火)

17:30～東ト総合会館7階で開催します。

テーマは「高速道路の無料化とは」で講師は山崎養世氏です。高速道路料金は運送事業経営コストの一つとして経営に大きな影響をもたらす外的要因・問題です。衆議院が解散し、今後の動向に注視が必要などころではありますが、政治は別にしても、高速道路料金については常に情報収集にあたり検討しておくことが必要です。是非ご参加いただきますようお願いいたします。

●東ト協壮年部時代(1995.5)に高速道路料金について提言しています。その中に、高速道路料金について様々な意見がありましたので一部をご紹介します。

「高速道路は基礎的なインフラであるから税金をもっと補助して料金を下げるべき」、「首都高については慢性的な渋滞状況において非常に割高」、「永久徴収システムにして料金を下げてほしい」、「首都高は必要のない車が乗らないように1,000円ぐらいにすべき」、「平日は産業用道路、休日は一般客道路として料金体系を改定」、「営業用・家用の料金差別をしたらどうか」、「建設費用が完済したところから無料に戻るのが建前」、「渋滞の緩和が達成できるのなら多少の値上げはやむを得ない」、「高速道路が無料になれば高速道の利便がなくなる」、「毎年、維持・補修が必要なことから最低料金は徴収すべき。建設費用は国税から支出すべき」、「高速道路値上げ分については荷主に転嫁できる現状ではないので、収支を悪くしていく大きな原因となる」等々

◇お店紹介

最近ロジ研の正副・幹事会後の懇親会は、「稜花」というおそば屋さんが多いのでご紹介します。

このお店は、東ト総合会館の裏手の四谷左門町で、席数は25名ほど。この稜花のせいろ蕎麦はゆで時間なんと8秒前後！！店主が1秒にこだわった逸品です。なぜなら1秒の差で風味・味わい・食感・のど越し全てが変化してしまうとのこと。風味と味わいのある稜花のおそばは、北海道産の石臼挽きのそば粉を使用！平打ちで細いくせにコシが強く歯ごたえがあります。・せいろ 550円・ざる 650円・・・他。昼食にもおすすめです。



夜は、そば焼酎のそば湯割、これを串揚げや特製冷や奴等のおつまみといただきます。揚げたてサクサクの「串揚げ天ぷら」は1本

100円～とリーズナブル☆ 仕上げは当然せいろそばで

日本そば 左門町「稜花」 東京都新宿区左門町1

<http://ryoka.rako.jp/index.php> 定休日：日曜

営業時間：11:30～15:30 17:00～22:00(21時ラストオーダー)